L10ax エンタープライズ タブレット



クイック スタート ガイド Windows[®]

2023/06/08

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各 地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有していま す。©2023 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約 または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の 条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア:zebra.com/linkoslegal. 著作権および商標: zebra.com/copyright. 特許: ip.zebra.com. 保証: zebra.com/warranty. エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属 している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザー に限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に 関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または 第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計 は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないよう に、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、か かる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当 該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合で も、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む)の開発、製造、 または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの 損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法 域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客 様に適用されないことがあります。

構成

特に記載のない限り、このガイドで使用されている L10ax は、すべての構成を指します。L10ax プラットフォームには 2 つのフォーム ファクタがあります。それぞれが異なるフォーム ファクタです。

- XPAD は、ハード ハンドルが付いているかどうかで区別できます。このハンドルには、内蔵バーコー ド リーダー、2 つのプログラム可能ボタン、前面スピーカ用のスペースがあります。
- XSLATE にはハンドルがありませんが、それ以外は XPAD と同様です。

XSLATE L10ax の機能

XSLATE L10ax タブレットには、2 個のマイク、周辺光センサ (ALS)、2 メガピクセル前面カメラ、13 メ ガピクセル背面カメラ、およびその他の機能があります。XPAD タブレットのハンドルを除いて、これら のほとんどの機能は、XPAD タブレット上の同じ場所にあります。

正面図



1	正面のマイク アレイは、2 個のデジタル マイクで構成されています。
2	Windows Hello で顔認証を実行する際には、Windows Hello 赤外線 (IR) イルミネータによ り赤外線が顔に照射されます。
3	設定でフル HD 解像度が有効になっている場合、2 メガピクセルの前面カメラはフル HD 解像度になります。写真のサイズと品質を調整できます。
4	カメラが作動すると、カメラの LED が白く点灯します。
5	オプションの指紋センサにより、生体認証が可能になっています。
6	電源 LED は、タブレットの現在の電源状態を示します。

7	バッテリ LED はバッテリの充電状態を示します。
8	リセット スイッチを使用すると、タブレットの電源を強制的にオフにできます。ペン先で 操作します。
9	タッチスクリーンは、オペレーティング システムおよびソフトウェアを操作するための標 準的な手段です。
10	ホーム ボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。
11	周辺光センサ (ALS) が周辺光の量を検知し、デバイスが画面の輝度を調整します。

背面図



1	赤い円が見える位置までラッチを左にスライドさせると、バッテリを固定しているバッテ リ ラッチが外れます。
2	このライトは背面カメラ用のフラッシュであり、フラッシュライトとして使用できます。
3	13 メガピクセル背面カメラ
4	Kensington ロック スロットは金属で補強された穴です。ケーブルとロックを使用して、 この穴でタブレットを固定します。
5	近距離無線通信 (NFC) を使用すると、デバイス同士を近づけて情報を交換できます。
6	ー部のオプション アクセサリをタブレットに接続するときは、拡張ポート カバーを取り外 します。
7	ヘッドセットまたは外部スピーカを使用していない場合は、音はこのスピーカから出力さ れます。
8	タブレットが電源に接続されていない場合、またはドックに入っていない場合、バッテリ からタブレットに電力が供給されます。

9 ペンホルダ

右側面図



1	外部電源アダプタの電源入力接続部
2	LAN 接続用のイーサネット ジャック RJ45 ポート
3	音量コントロール ボタン
4	丸いボタンは、[Task Manager]、[Lock] (ロック)、[Sign out] (サイン アウト) などのオプ ションを表示する Ctrl-Alt-Del のショートカットです。
5	電源ボタンを押すと、タブレットの電源がオンになります。タブレットの電源がオンのと きに押すと、スリープ モードに移行/復帰します。

左側面図



1	メモリ カード スロットは microSD カードの読み取りと書き込みを行います。
2	USB Type-C ポートでは、Type-C コネクタを使用して、USB 3.1 およびDisplayPort 出力 にアクセスできます。
3	2 つの USB 3.0 Type-A ポートを使用すると、マウス、キーボード、外部ストレージなど のデバイスを接続できます。
4	3.5mm オーディオ ジャックは、ヘッドセット用のステレオ出力と、外部マイク用のモノ ラル入力をサポートしています。
5	L10ax のポートは、このロッキング ドアで密封されます。タブレットの出荷時には、ロッ キング ドアがロックされており、ラッチの緑色が見えます。ポートにアクセスするには、 赤い色が見えるまでロックをスライドさせて、ロッキング ドアを開きます。搬送または保 管のためにこのドアを固定するには、ドアをしっかりと閉じて、緑色の部分が見えるまで ロックをスライドさせます。



XPAD L10ax の機能

XPAD L10ax タブレットには、2 個のマイク、周辺光センサ (ALS)、2 メガピクセル前面カメラ、13 メガ ピクセル背面カメラ、およびその他の機能があります。XPAD タブレットのハンドルを除いて、これらの ほとんどの機能は、XPAD タブレット上の同じ場所にあります。

正面図



1	正面のマイク アレイは、2 個のデジタル マイクで構成されています。	
2	Windows Hello で顔認証を実行する際には、Windows Hello 赤外線 (IR) イルミネータにより赤外線が顔に照射されます。	
3	ペン ホルダ	

4	設定でフル HD 解像度が有効になっている場合、2 メガピクセルの前面カメラはフル HD 解 像度になります。写真のサイズと品質を調整できます。
5	カメラが作動すると、カメラの LED が白く点灯します。
6	ヘッドセットも外部スピーカも使用していない場合は、音は内蔵スピーカから出力されま す。
7	オプションの指紋センサにより、生体認証が可能になっています。
8	電源 LED は、タブレットの現在の電源状態を示します。
9	バッテリ LED はバッテリの充電状態を示します。
10	リセット スイッチを使用すると、タブレットの電源を強制的にオフにできます。ペン先で 操作します。
11	タッチスクリーンは、オペレーティング システムおよびソフトウェアを操作するための標 準的な手段です。
12	ホーム ボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。
13	周辺光センサ (ALS) が周辺光の量を検知し、デバイスが画面の輝度を調整します。
14	プログラム可能機能ボタン P1 および P2

背面図



3	13 メガピクセル背面カメラ	
4	Kensington ロック スロットは金属で補強された穴です。ケーブルとロックを使用して、 この穴でタブレットを固定します。	
5	近距離無線通信 (NFC) を使用すると、デバイス同士を近づけて情報を交換できます。	
6	ー部のオプション アクセサリをタブレットに接続するときは、拡張ポート カバーを取り外 します。	
7	タブレットが電源に接続されていない場合、またはドックに入っていない場合、バッテリ からタブレットに電力が供給されます。	
8	赤い円が見える位置までラッチを左にスライドさせると、バッテリを固定しているバッテ リ ラッチが外れます。	

右側面図



1	外部電源アダプタの電源入力接続部
2	LAN 接続用のイーサネット ジャック RJ45 ポート
3	音量コントロール ボタン
4	丸いボタンは、[Task Manager]、[Lock] (ロック)、[Sign out] (サイン アウト) などのオプ ションを表示する Ctrl-Alt-Del のショートカットです。
5	電源ボタンを押すと、タブレットの電源がオンになります。タブレットの電源がオンのと きに押すと、スリープ モードに移行/復帰します。

左側面図



1	バーコード スキャナは、バーコードを読み取るための内蔵光学インタフェースです。
2	メモリ カード スロットは microSD カードの読み取りと書き込みを行います。
3	USB Type-C ポートでは、Type-C コネクタを使用して、USB 3.1 およびDisplayPort 出力に アクセスできます。
4	2 つの USB 3.0 Type-A ポートを使用すると、マウス、キーボード、外部ストレージなどの デバイスを接続できます。
5	3.5mm オーディオ ジャックは、ヘッドセット用のステレオ出力と、外部マイク用のモノラ ル入力をサポートしています。



初めて使用する際のタブレットの準備

タブレットを初めて使うときには、バッテリを挿入してタブレットを充電します。タブレットで無線ワ イド エリア ネットワーク (WWAN) が有効になっている場合は、有効な SIM カードを SIM カード ホルダ に挿入するか、eSIM を使用して携帯電話データ ネットワークにアクセスします。

SIM カードの挿入

WWAN 対応 L10ax タブレットは、SIM カードと eSIM をサポートしています。SIM の切り替え は、Windows 内で行います。ほとんどの人は 1 つの SIM しか必要としません。

モバイル ブロードバンド ネットワークに接続するには、携帯電話ネットワーク プロバイダのアクティブ なアカウントが必要です。SIM カードを使用して、タブレットでモバイル ブロードバンド アクセス用に eSIM を有効にできます。

SIM カード ホルダには、モバイル ブロードバンド オプション用の Nano SIM (4FF) カードを装着できま す。この SIM カードは、携帯電話の SIM カードと同様に機能し、タブレットをネットワーク プロバイダ に接続します。モバイル データ プランを eSIM に追加するには、携帯電話ネットワーク プロバイダにお 問い合わせください。

1. タブレットの電源を切ります。

2. バッテリがタブレットに入っている場合は取り外します。

3. SIM カード スロット (1) に、SIM カードをゆっくりとスライドさせます。SIM の端子 (金色) が下向き になっており、タブレットのバッテリ ベイ内に記載された図の示すとおり、切り込みのある角が左側 になっていることを確認します。



4. バッテリを取り付けます。

タブレットの起動

バッテリを取り付けた後、タブレットを外部電源に接続して電源を入れます。 まだバッテリを挿入していない場合は、パッケージからバッテリを取り出します。

 タブレットの背面で、バッテリ ラッチが左にスライドしており、赤い円が見えていることを確認しま す。バッテリの下部をベイに挿入します。トレイを傾けて、カチッと音がするまでしっかりと押し下 げます。



- 外部電源は2つの部品で構成されます。1つは電源に差し込む部品で、もう1つはタブレットに差し込むコードが付いたアダプタです。電源コードをアダプタに差し込んでそれら2つの部品を接続し、1本の長いコードにします。
- **3.** タブレットに外部電源を接続するには、ポート ドアを開いて、**電源アダプタ ポート** (1) が見えるよう にします。AC アダプタをタブレットのこのポートに差し込みます。



4. 電源コードをコンセントに接続します。

バッテリ充電インジケータが、バッテリの充電状態を示します。

状態	意味
緑色で点滅	バッテリは充電中です。
緑色で点灯	バッテリの充電が完了しました。
赤色	充電温度が高すぎます。

5. タブレットの右側中央にある電源(1)を押して放し、電源をオンにします。



6. バッテリが完全に充電されるまで、タブレットを AC 電源に接続しておいてください。ただし、タブレットの電源をオンにする場合、タブレットが完全に充電されるまで待つ必要はありません。L10ax は使用中に充電されます。

オプションのセットアップ タスク

このセクションでは、ペン テザーの取り付け方法と、タブレットを外部モニターに接続する方法につい て説明します。

ペン テザーの取り付け

ペンにはテザーが付属しています。このテザーでタブレットとペンをつなげることで、ペンを無くさな いようにできます。

- 1. テザーの一方の端をペンの端にある穴に通し、ペンをループに通して、しっかりと固定されるまで 引っ張ります。
- テザーのもう一方の端をタブレットの取り付け部に通し、ペンをループに通して、しっかりと固定されるまで引っ張ります。

タブレットを外部モニターに接続する

タブレットには外部モニター専用ポートはありません。タブレットには、ディスプレイ ポート出力機 能を備えた USB Type-C コネクタがあります。USB Type-C DisplayPort をサポートし、それを外部モニ ターの接続に必要なポートに変換するドングルが必要です。このドングルには、次のポートが1つ以上 あります。HDMI、DVI、DisplayPort、または VGA。

たとえば、HDMI ポートを備えたモニターをタブレットに接続するには、USB Type-C DisplayPort を HDMI 出力に変換するドングルが必要です。

K

注: 一部のドングルは USB からビデオ出力に変換しますが、その場合にはソフトウェアを使用 して USB インタフェース経由の外部ディスプレイを有効にします。USB Type-C ドングルが特 に USB Type-C DisplayPort 入力に対応していることに十分注意してください。プラグ アンド プレイであり、ソフトウェアやドライバが不要であるドングルを探します。

バッテリ充電インジケータの背面

バッテリがタブレットから外れている場合、背面のバッテリ チェック ボタンを押してバッテリの充電状 態を確認できます。



重要:タブレットの動作中にバッテリを取り外した場合、タブレットの動作が停止しないようにするために、1分以内にバッテリを交換してください。バッテリを長期間外す必要がある場合は、ファイルを保存してください。その後、シャットダウンするか、電源に接続します。

タブレットからバッテリを取り出している場合は、背面を見て、ランプの左側にあるボタンを押して充 電レベルを確認することで、充電状態を確認できます。

図1 バッテリチェックボタン



1	バッテリ充電インジケータ
2	バッテリ チェック ボタン

バッテリ背面の5つのライトは、現在の充電レベルを示します。1つのライトが点灯していれば充電量は20%で、5つ点灯していれば充電量は100%です。

内蔵バーコード スキャナによるスキャン (XPAD のみ)

バーコード スキャナを使用してバーコード データを収集します。

オプションの XPAD L10ax スキャナは、工場出荷時に取り付けられているデバイスです。このデバイ スは、バーコード光学画像リーダーとハードウェア デコーダで構成されています。SE4107 スキャナ は、XPAD L10ax タブレットのハンドルに内蔵されています。





- 1. タブレットで、バーコード データを受信するアプリケーション ソフトウェアを開いて、そのソフト ウェアの該当するフィールドにアクティブなカーソルを配置します。
- 2. スキャナのレンズをバーコードに向けます。
- 3. ハンドルの上にあるバーコード スキャンボタン(1)を長押しします。



4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下 で視認性を向上させるために使用されます。

図3 照準パターン





注: デバイスがピック リスト モードの場合、デバイスは十字の照準の中心がバーコードに 当たるまでバーコードを読み取りません。

図4 照準パターン-ピックリスト



デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが 正常に完了したことを示します。 スキャンボタンを放します。
バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。



www.zebra.com